

オートラウンジ石原武典のVIPセキュリティ

第1回 心がけ=0円で出来るセキュリティ講座

10月26日(火)

自分のクルマが盗難にあう可能性があると思っている人、10人中何人いると思いますか？とある調査会社が調べたところ、その結果は10人中なんと1人…。愛車への危機意識が薄い日本は、クルマの窃盗団にとって「道路にサイフがたくさん落ちている」という、まさに黄金の国らしい。なおかつ、高級セダンに高価なパーツを身につけたビップカーは、彼らの目に、かなりのごちそうに映るとも…。そんな窃盗団から、大事な愛車を守るためにできること、カーセキュリティについて、安全のプロがレクチャー！

まず初めに…

「いたずら、車上荒らし、パーツの盗難に、車両盗難。こうした被害の警察への届出は、年間15万件以上にもなっています。ちなみにわかりやすく例えると、3分に1件、日本のどこかで被害にあっています。そうした被害は東京、大阪、名古屋、仙台、福

岡といった大都市に集中していますが、日本中どこでもありえることなので、安心は禁物なんです。

ちなみにカーセキュリティとは、被害を受けないよう警告するシステムのこと。ですが、どんなにいいシステムを組んでも、そこにオーナーの安全に対する意識が加わっていないと、カーセキュリティ本来の機能はほとんど発揮されません。

オートラウンジ

石原武典 *Ishihara Takenori*

カーセキュリティに強い大阪府大阪市のプロショップ、オートラウンジの代表。年間平均250台ものカーセキュリティのインストールにたずさわるなか、2009年にはユビテルのカーセキュリティ「ゴルゴ」の販売取りつけ台数全国第一位に輝く。そうした堅実な仕事の反面、性格は明るくソフト。B級グルメ好きでもある。

●オートラウンジ
☎06・6957・7775
<http://www.auto-lounge.jp/>



○対策 ×傾向

- カギをかけず、ちよつと買物
- 自分は大丈夫だと思っている
- 必ずカギをかける
- 車内に貴重品は置かない

一度狙われたクルマは再度狙われやすい!?

「これは去年の10月に実際に起きたこと。実はこの30系セルシオ、半年前の4月に車上荒らしにあっているんです。その時、カーセキュリティをすすめたのですが、今ほどパーツ自体の価格が安くなかったため、『セキュリティにお金をかけるなら、ドレスアップに…』とした結果がこれです。

窃盗犯にとって、一度窃盗に成功して味をしめたクルマは、ある意味、カモ。再度狙いに来るのは当然と言えば、当然です。『一度あったんだから、もう次は当分起こらないだろう』は大きな間違い。

ちなみに修理代は総額300万円、修理期間は5ヶ月。クルマ自体、お金をかければ直せるかもしれませんが、問題は心のキズ。愛車を盗られた人にとって、ダメージははかりしれないくらい大きい…。彼自身、さすがに今はカーセキュリティをつけ、安全にも気をつけています。



↑後期用ヘッドライトが外された、なんとも痛々しい姿



↑左リアドアのウィンドウが割られ、車内に侵入されたもよう



↑ウインカーは、ミラーカバーが根こそぎ取られた



↑バッテリーの配線が切断。バッテリー自体も持ち去られた

もちろん、最後まで読んでカーセキュリティのことを納得してからつけるのもいいと思います」と、代表の石原氏。

カギは必ずかけよう

「当たり前前のことですが、とつても重要なこと…。それはクルマを降りた時には必ずカギを閉めることです。今、ほとんどのクルマにキーレスが

ついていると思うのですが、それでもカギをかけない人が多く、その間に車上荒らしに遭うケースが頻繁に起きています。特に多いのが、コンビニでのちよつとした買い物ですね。

ひどい人になると、カギをつけっぱなし、かつエンジンをかけっぱなしのまま、実際、乗り逃げされるケースは本当に多いですよ。しかもそうしたクルマは、犯罪や逃亡の足代わりとして

講座のおもな年間スケジュール

- 第1回 心がけ (防犯意識を高める)
- 第2回 駐車場の止め方 (危機意識を高める)
- 第3回 犯行の手口 (車上荒らし)
- 第4回 犯行の手口 (パーツの盗難)
- 第5回 犯行の手口 (車両盗難)
- 第6回 純正セキュリティの崩壊
- 第7回 車両保険について
- 第8回 セキュリティとは?
- 第9回 セキュリティプラン①
- 第10回 セキュリティプラン②
- 第11回 セキュリティプラン③
- 第12回 まとめ

※各々まで予定であり、予告なく変更することもあります



一瞬のスキが
命とりでっせええ
えええッ!!

世界のおもしろ カーセキュリティ



オートテザー モデル 58000
AUTO TASER model 54000



振動センサーとスタンガンを内蔵したアメリカのハンドルロック。むやみに触れると、高压電流が流れ、バチバチッ! と侵入者を撃退。確かに安全性は高そうだけど、脱着する時、なんかこわいぞ。価格は約200ドル(約1万6000円)。

記事を読んで不安になってしまったアナタに...

今月の特選 カーセキュリティ

K-ブレイク ×オートラウンジ スペシャルステージ1

オートラウンジがK-ブレイクとコラボして製作したカーセキュリティのエントリーモデル。衝撃やドアやトランクの開閉などを感知すると警告。閑静な駐車場、繁華街の駐車場や立体駐車場という異なる環境にもそれぞれ正確に反応するよう、2つの警戒モードを内蔵。価格は工賃込みで7万9800円。



↑キーの置き忘れにもご用心!

→例えば、コンビニへの買い物時、ガラス越しに見えるとはいえ、キーをつけたまま、クルマから離れるのはかなりキケン。そのちよつとした間にクルマごと乗り去られたというあまりにも悲しいケースが、現実起こっているという



使われるケースも多いと聞きます。これでは、カーセキュリティをつけてもまったく意味がない。ほんと、キーレスだったら、ポチッとボタンを押すだけ。クルマを降りたら、必ずカギをかけましょう。

クルマはガラスのケース

「次に大事なものは、絶対にクルマの中にバッグや貴重品を置きっぱなしにしないこと。いくらカギをかけたとしてもクルマは金庫ではなく、単なるガラスケース。レスキューハンマーを使えば、ウィンドーはカンタンに粉々にできちゃいます。つまり窃盗犯にとつて、ガラス越しに見える獲物は、道ばたに落ちていくサイフと同じ。特に注意すべきは、行楽シーズンや大型連休の高速パーキング。渋滞

を抜けた後のパーキングで、トイレへ急いでかけこんでしまうこと、誰でもあると思います。そんな時、うっかり、バッグを車内に置きっぱなしにしてしまふ。窃盗犯はそうした人の行動をよく見ています。

カーセキュリティをつけていても、ウィンドーを割るといふ荒技の前には、まったく用をなさない。ガラスが割られる、カーセキュリティが警告音を発しても、時すでに遅し。ガラスが割られるは、バッグも盗まれるは、まさに踏んだり蹴ったり。それもこれも、見える場所にバッグを置いていたから...。カギはかける。車内に貴重品を置かない。それをついっさり忘れたその一瞬のスキが一番の狙われどころ。当たり前のことを当たり前に行う。これがすぐに実践できる0円セキュリティの極意です」。